

すゝと共に、生産費の減少、製品の改良によつて出資者の利益より、延いては消費者の利益を計るゝのであるから、その結果は勞資協調の實を擧げて、勞働争議を未然に防ぐ方法として役立つとの趣旨の下に、能率増進の方法の研究及び實施を促す目的を以て、文學士上野陽一氏を初代所長として開所された。従つて、その事業としては講演及び講習、出版、相談、實施、技師養成、適性検査、器具機械製作紹介、實驗研究等を行ひ、研究室及び實驗室を設備して科學的に勞働能率の研究を怠らず同時に各地に於ける能率技師養成所の指導に當り、又諸工場に就き實地指導も行ひ、産業能率の増進の爲に搾取すゝところが多かつたが、大正十四年四月一日本會の手を離れて財團法人として獨立すゝに至つた。

最後に大正十二年三月に完成せられた協調會館を擧げればならぬ。本會の事業が確立進展するに從ひ、其の趣旨精神の宣傳普及の中央活動機關として又勞働者其の他の知識向上、修養娛樂及び福利増進の爲の實行に當るべき中心機關として會館を設置するの必要を感じられたに至つた。その結果理事會に於ける協調會館建築の決議となり、大正十年八月芝公園第六號地に五百餘坪を東京市より借受け、その敷地に充て、大正十一年三月十六日建築に着手し翌大正十二年二月二十八日に至つて竣工した。建物總坪數千二百七坪餘、工事費及び設備費合計五十三萬餘圓であつた。斯くて設備の完成を俟つて同年六月二十三日を期して開館式を擧行し、これと同時に社會政策資料展覽會を開催し社會政策資料一千餘點を縦覧に